



2012年12月期
第1四半期 業績概要

2012年5月15日

株式会社SmartEbook.com

証券コード：2330

2012年12月期 第1四半期 業績概要

2012年12月期 第1四半期 損益状況

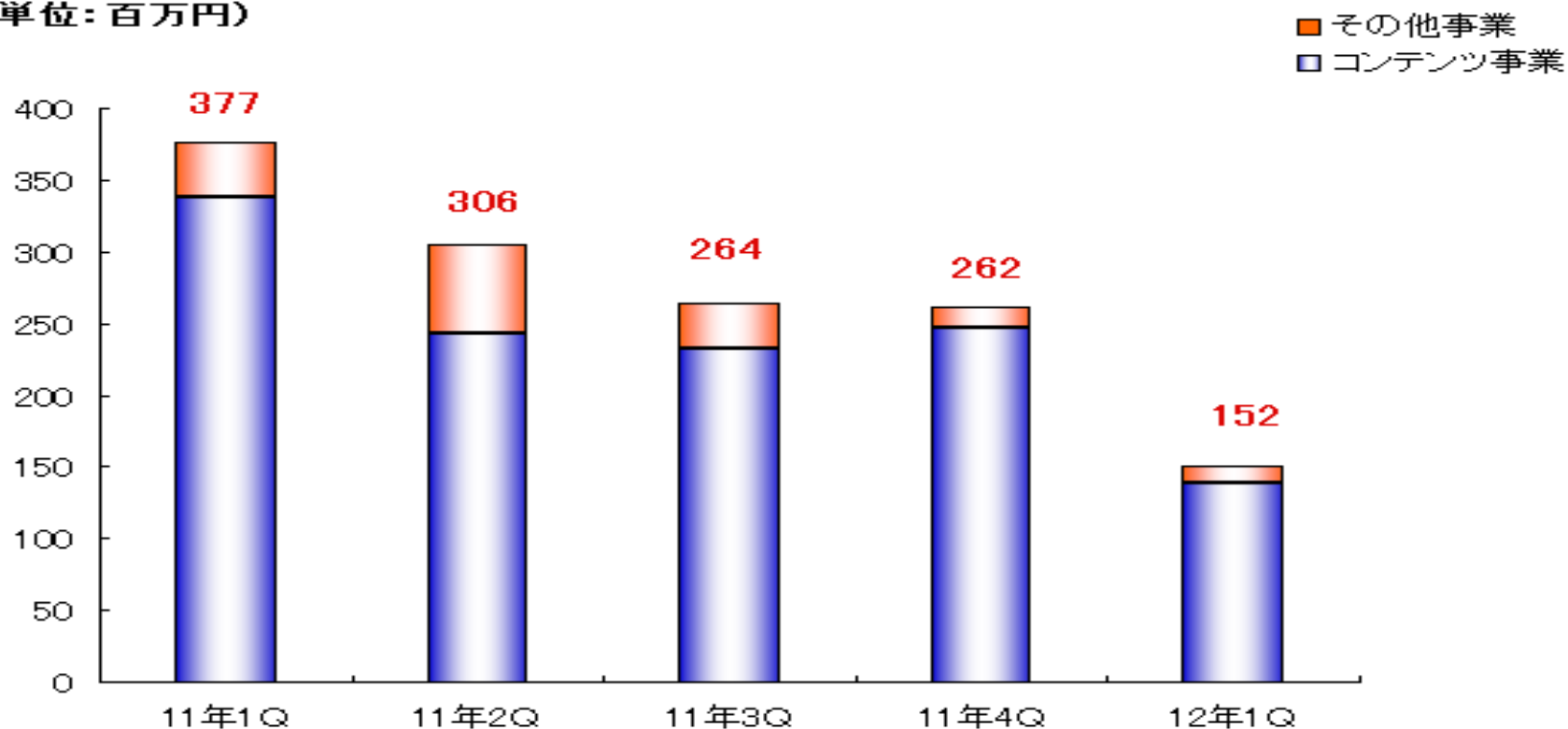
流通チャネルの更なる拡大と、新プラットフォームへの商品開発、ビューワー機能開発、自社原版制作に特化。通信キャリアとの流通チャネルの強化することはできたものの、商品開発・ビューワー機能開発への先行投資と提供の遅れにより、当第1四半期連結累計期間においては減収・減益となった。

(単位:百万円)

	2012年1Q (3ヶ月)		2011年1Q (3ヶ月)		増減率(%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
売上高	152	100.0%	377	100.0%	-59.7%
売上総利益	67	44.1%	185	49.1%	-63.8%
営業利益	△ 216	-	△ 388	-	-
経常利益	△ 171	-	△ 372	-	-
四半期純利益	△ 172	-	△ 669	-	-

国内フィーチャーフォンサイトの一本化を行い、世界規模でのスマートフォン・e-booksビジネスの流通チャネルの拡大を実施。China mobileの閲覧基地、動画基地、China telecomの閲覧基地との契約締結、中国の大手SNS「開心網」での配信開始等、中国を中心としたアジア地域への拡大に注力。当第1四半期累計期間における売上には寄与せず減収。

(単位: 百万円)

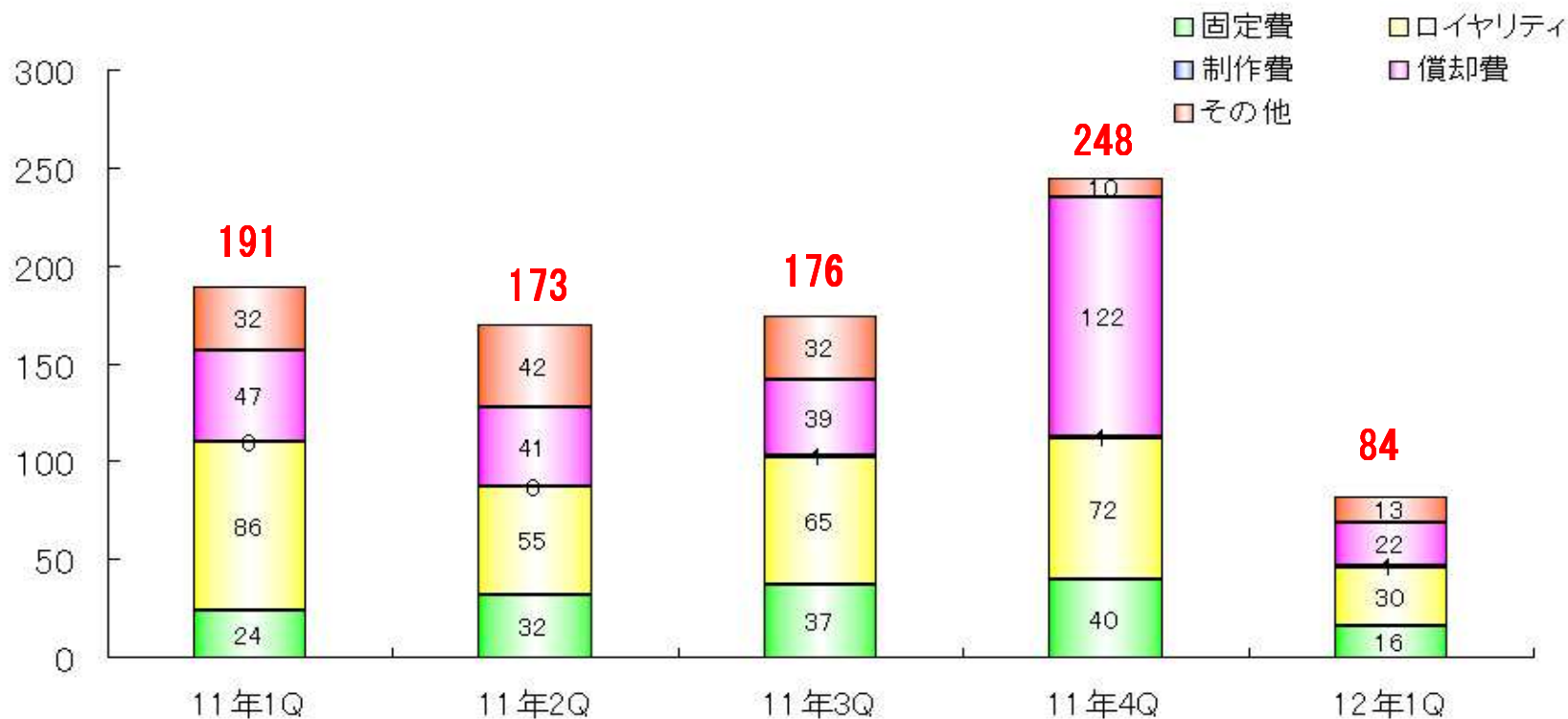


売上原価の内訳と推移

プラットフォーム提供にあわせた、商品開発、ビューワー機能開発、自社原版制作に投資を促進。

当第1四半期累計期間において、国内フィーチャーフォンサイトの一本化の完了により、固定費原価が大幅削減。

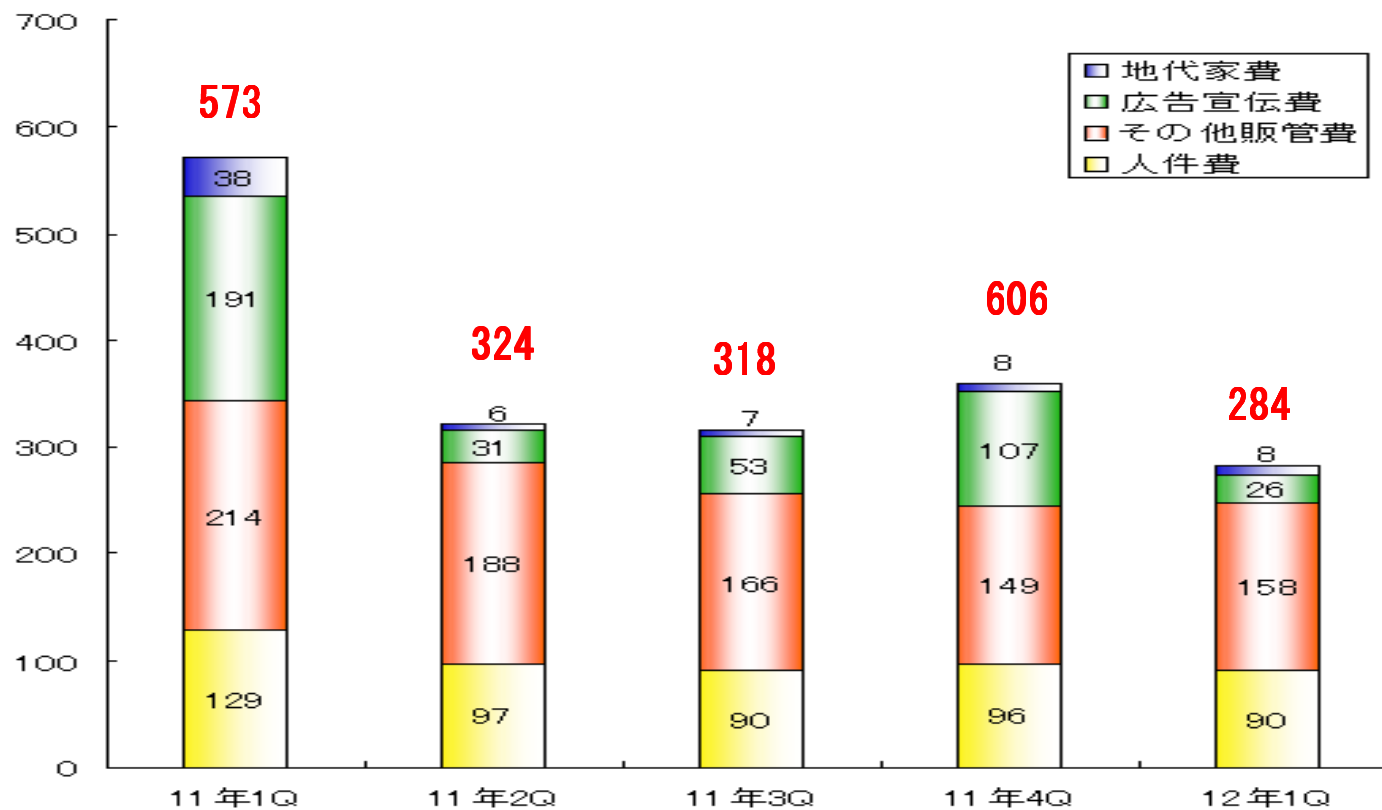
(単位: 百万円)



販売管理費の推移

プロモーションについては、ライトユーザー向けにFreeからレンタル販売やIVAリワード実施の組織体制構築。
当第1四半期累計期間においては、広告宣伝費は大幅に減少。

(単位:百万円)





SmartEbook.comは
ebooksビジネスに特化し、
『一步一步を、着実に。』歩んで参ります。

—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社SmartEbook.comに属します。